



ニュース&トピックス

年末年始の休業日について

下記の期間を年末年始の休業日とさせていただきます。

休業期間：2019年12月29日（日）
～2020年1月3日（金）

年始営業は2020年1月4日（土）からとなっております。ご不便をお掛けいたしますが、ご理解をよろしくお願いいたします。

ご意見・ご感想をお寄せください

第4回目のニュースレター、いかがでしたか。まだまだ、内容を充実させていきたいと思っています。

皆様のご協力をお願いします。ご意見・ご感想等、なんでも結構です。下のメールアドレス宛にどしどしお送りください。お待ちしております。

triangle@shizuoka-fukushi.or.jp

澄み 渡る夜空に瞬く星がいつそう美しい季節となりました。いかがお過ごしですか？ 早いもので今年もあと数日。光陰矢のごとしは、よく言ったものですね。

『NPO法人 しずおか福祉の街づくり』は12月13日で設立3周年を迎えました。いくつもの壁を乗り越えてこられたのは、ひとえに皆様のお力添えのお陰です。本当にありがとうございました。ニュースレター第4号をお届けします。育児の参考にいただければ幸いです。

学び方の違いと合理的配慮について

静岡赤十字病院小児科部長 西澤 和倫

子供 達にはそれぞれ個性があり、得意なことと不得意ことがあります。学習においては不得意なことがあると学習に支障が出てしまいます。しかし、これらの支障は適当な支援があれば防ぐことができることが多いのだと思います。

聞く力が弱い子は先生の話覚えておくことができにくいです。一生懸命聞いていても他の子に比べて習得できる内容が少なくなってしまいます。話された内容をプリント等で確認できればいいのに。目で見て覚える力が弱い子は黒板を写すのが苦手です。他の人が黒板を写しながら考え、理解している時に、黒板を写すだけで時間が過ぎてしまい習得できる内容が少なくなってしまいます。あらかじめ黒板の内容をプリントに記載して配っていただければいいのに。集中力が続かない子は授業中に飽きてしまい、途中で嫌になってしまいます。45分の授業時間は長すぎるのかもしれませんが、もっと授業が楽しければよいのかもしれませんし、5分間の休みを挟んで20分ずつの授業なら飽きずに集中できるかもしれません。宿題を家でやるのが苦手なことがあります。宿題をやったらなかったら学校でやらせるようにすればいいのに。好きなことと嫌いなことの差が激しい子は嫌いな授業ではやる気が出ません。もっと内容を選択できればいいのに。

学校の授業は多数派の子供達に都合のよい形にできています。少数派の子供達に適切な配慮をすれば、勉強ができなくて苦しんでいる子供の数は減ると思います。努力不足や能力不足と決めつけな



いでください。学習障害（Learning Disabilities）や学習困難（Learning Difficulties）と呼ばれる状態がありますが、学び方の違い（Learning Differences）があるだけなのかもしれないのです。

現在は学校側に過度の負担がない限り、子供達の能力を最大限に伸ばすための配慮をすることが求められています。このような配慮は「合理的配

慮」と呼ばれています。学校の先生方はできる限りの配慮をすべきだと思いますし、保護者の方々は我が子に対する合理的配慮がなされていないと思ったら、学校側に求めていって欲しいと思います。「LDの「定義」を再考する」（金子書房）という本は有用です。

学校で十分な支援が受けられない場合は家庭や塾や家庭教師で補わなければなりません。しかし、不得意なところのある子に勉強を教えることはそうでない子に教えることの何倍も大変ですので家庭で教えるのは困難を伴います。塾や家庭教師は費用がだいぶかかります。放課後デイサービスが学習に不得意な所のある子供達のよい支援の場であって欲しいと思います。



衆議院議員 野田 聖子さん が来訪



障がいをお持ちのご長男との生活をブログでも発信されている野田先生ですが、当法人の設立3周年にご長男真輝さんと一緒に来てくださいました。前半は当法人の関係者や支援者・トライアングル保護者の方が参加した野田さんとの意見交換会、後半は野田さんの講演会が行われました。意見交換会は、司会の香野先生により多くの方の意見が引き出され、現場の声、特に支援学級の教員の資質向上や進路の選択肢の増加を望む声をしっかり野田先生にお伝えすることができました。後半の講演会に参加された保護者のママたちからは、野田さんの生き方を知って、「自分の今までの考え方を考えることができた。」「子供への接し方を変えなければいけないと思った。」等の発言も。野田さんのお子さんに対する愛ある接し方や飾らない真摯な姿勢に触れ、涙を浮かべている方も多く見られました。

教室のひとこま



姿勢良く入場行進をして、先生や友だちの前でそれぞれの好きな歌を聞かせてくれました。



お友だちが物語の本を読み聞かせてくれました。みんな、イメージを膨らませて聞いていたのかな？



「いらっしゃいませ！絵本屋さんですよ、どれがいいですか？」手作りのお金でやり取りするのを楽しみました。



大好きな回転ずしの装置を作りました。「こうやって回すんだよ！」と得意顔で友だちに教えていました。

教室の様子はホームページでも紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

家庭で使ってほしい育児のヒント

「いい加減にしないで！」「またやったの？」と暴力をふるった子どもに対してこのように責めてしまうことはありませんか？確かに、強く叱ることで一時的に暴力を止めることはできるかもしれませんが、しかし、力で押さえるような叱り方を繰り返していると、子どもとの信頼関係が希薄になり、ただ反発するようになってしまいます。このような時にオススメなのは、本人を否定するのではなく、暴力という『行為だけを叱る』ということです。「〇〇を叩いたらダメだよ！」「〇〇を投げるのはダメよ！」と『強く短い注意』に留めましょう。この時大人は感情的にならず冷静に対応することが重要です。そして、子供が落ち着いているときに「ママはあなたのことが大好きよ。」「あなたは本当は優しい子なんだよ。」としっかりポジティブな言葉で暗示をかけるように伝えてあげましょう。その子が優しく接している場面を見つけたら、すかさず褒めてあげることを忘れずに！

スタッフのオススメ～子どもに伝えたいもの～

子ども 年末年始は家族で伝統的な行事を体験をする良い機会

私たちはもうすぐ冬休み。年末年始は子どもたちに日本の伝統文化を学ばせるよい機会です。併せて『我が家のしきたり』についても『何のためにするのか』を考えさせながら、体験を通して学ばせたいものです。新年を心新たに迎えるために、自分の部屋の片づけや大掃除のお手伝いをする。年越しそばをなぜ食べるのか、その意味を伝えながら『食』への関心を高める。お正月に子どもたちが楽しみにしているお年玉も、「ありがとう。」と感謝の気持ちを言葉で表現するとともに、何に使うのか家族と一緒に考える。初詣では、将来に向かって大志を抱かせながら、その実現のために実現可能な目標を自分で設定させるのもよいのでは。家族ですごろくやこま回しのような、昔の遊びを楽しむのも、お正月ならではのことと思います。子どものうちに、家族で伝統的な行事や体験を共有することは、子どもの人間形成に大きな影響を与えることでしょう。（神谷 信子）



編集後記 9月より中学生を中心に、一対一の対応を基本にした学習支援を始めました。個別対応をしてみると様々なことに気付きます。その子が何を考え、どのように理解しているのか、また何を理解していないのかがよく見えるのです。テストでは同じような点数でも、全く分かっていない状態と、基礎的な事柄は分かったけれど点数に結びつかなかったことには大きな差があります。子どもはそんなにすぐには変わりません。小さな変化を認め、褒めてさらに伸ばしてあげることが重要だ思う毎日です。（M.S.）

トライアングル

放課後等デイサービス

特定非営利活動法人 しずおか福祉の街づくり

放課後等デイサービス トライアングル

〒420-0032 静岡市葵区両替町1丁目7番5号 放生館2F

TEL：054-273-1177 FAX：054-266-4037

ホームページ：https://www.shizuoka-fukushi.or.jp/

メールアドレス：triangle@shizuoka-fukushi.or.jp